

藤平山～袴岳山行記録



大池付近

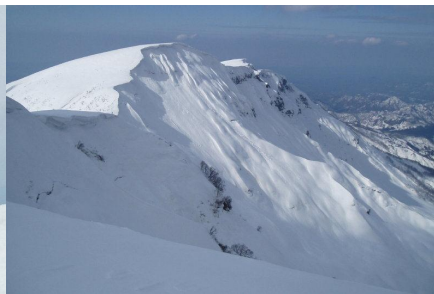
斜面急登



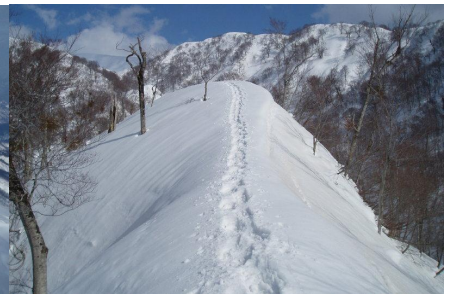
最奥が袴ピーク



袴岳山頂



青雲岳から大岳



下山尾根を振り返る

| | | | |
|-----|----------------------|-----|-----------------------|
| 目的地 | 藤平山～守門袴岳 | 期 日 | 平成21年3月1日(日)・晴れたり曇ったり |
| 山行人 | 笠原正雄・中野茂・森山トシ子・伴場ちづ子 | 特 記 | 3年前のルートをもう一度たどってみる。 |

| 地点名 | 時刻 | 記 事 |
|-----------|-------------|--|
| 与板発 | 午前7:00 | 新幹線7:52着のBを長岡駅東口に迎えに行く。栃尾に入れば粟、守門頂が見える。 |
| 二分最終除雪地点 | 8:55発 | 駐車は30台程。数10mで雪に上る。凍みている歩きやすい。薄曇。 |
| 田圃に上る | 9:35 | 積雪のため、上がり場を見失い猿倉橋手前まで進んでしまった。戻ってカンジキを履く。薄日となり日焼け止めを塗る。田圃を横切って昨日のトレースに乗る。 |
| 大池の上 | 10:20～10:25 | 展望が開けて立ち休み。晴れて来て、毛猛、権現と良く見える。荒沢前岨がしっかり見えた。三山は少しモヤっているがしっかり分かる。 |
| 斜面急登を終える | 10:55 | 本ルート唯一の難所を終え枝尾根登りとなる。今朝のものと思われるカモンカの足跡が深く刻まれていた。途中から向かう尾根の鞍部を目指し左右に進路を振る。 |
| 好展望小ピーク | 11:30～11:35 | 三角点の手前240m。少しエネルギー補給。入広瀬の集落が良く見える。 |
| 三角点1027 | 11:45～11:50 | ブナ林間の雪原を左に廻り込みながら登り、広い平坦台地。景色を楽しむ。一度鞍部に降りると樹林帯を通過するが、その後は殆ど樹林の無い雪原歩きとなる。 |
| 標高点1181 | 12:25～12:50 | 大原からの若者ボーダー7人と会う。正午も過ぎたし、まだお天気のうちかと思いい、ここで昼食を摂る。今日は長丁場だから、短時間昼食とした。 |
| 標高点1244付近 | 午後1:05 | 左にピークを見て進む。GPS距離でおよそ100m。大白川の赤い屋根の建物が見える。緩やかな早坂尾根の全容が良く分かった。 |
| 守門袴岳頂 | 2:00～2:10 | 登るにつれ徐々に気温が下がって来る。大白川からのピストン者のもと思われる登り下りの壺足跡が一对だけあった。山頂は陽が陰り風もあり、やや寒い。浅草岳も少しボンヤリしている。川内・下田の山々に陽がまだら模様当たっている。記念の写真を撮り下山とする。青雲付近に来ると大岳に陽が当たり始めた。 |
| 二口へ下山 | | 広い尾根下りは早い。オカバミ滝は雪の下で音も聞こえない。滝見場付近からの細尾根は雪稜となってくる。しかし軟雪で問題は無い。雪が硬かったり、もう少し早い時期であったなら、かなり怖さを感じるであろう。左右の対岸に陽が当たったり陰ったりしている。時々立ち止まり撮影し、皆に遅れる。 |
| 谷内平 | 3:20 | 5分程前にやや広くなった台地で休み、少し食べる。 |
| 歩行終了 | 4:45 | 尾根から降りるトレースがあったのだが、もう少し下がってからが良いだろうと思い先へ進んでから左折した。ところが進みすぎてしまったため猿倉山の北側の沢に入ってしまった。石積みので堰を2度わたり、作業道に上がる。進んで下方に西川と保久礼への車道を見つけ、斜面を急降下してトレースに乗る。一ヶ所崖崩れが道を塞いでいた。それを河原沿いに迂回して車道に戻り、猿倉橋に出る。駐車地点には我々の車が残るのみであった。予定最小値の8時間以内で戻れた。 |

そろそろ守門、浅草岳が気になり始めていた。このところ暖冬少雪続きだが、ことに今年は雪が少ない。期を逃すとこの山域を楽しめなくなると思っていた。一方、このルートは2度目である。大池までの別ルートを探りに前日歩いてみた。しかし、迷走し池まで2時間半を費やした。それでも、枝尾根に上がる所までトレースを刻み、下りは前回ルートに沿うように戻った。皆の足が揃い、道迷いはあったものの、想定した時間通りに歩くことが出来た。しかし、本日と云い、前日と云い、読図力の無さを実感させられた2日間であった。

